

平成 2 1 年 度

宗 像 市 教 育 委 員 会
点 検 ・ 評 価 報 告 書

平成 2 3 年 2 月
宗像市教育委員会

目 次

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	教育委員会会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・	2
3	教育委員会会議での審議状況・・・・・・・・・・・・・・	2
4	教育委員会活動の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
5	教育委員会に関わるその他の活動・・・・・・・・・・・・	10
6	点検及び評価の対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
7	点検及び評価の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
8	点検・評価結果の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12

1 はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表し、また、点検及び評価を行うに当たっては教育に関して学識経験を有する者の知見の活用を図ることとなっています。

宗像市教育委員会では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、教育委員会の事務事業について点検及び評価を実施しました。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議については、原則として毎月1回「定例教育委員会」を、また必要に応じて臨時教育委員会を開催しています。平成21年度については、会議を合計21回開催しました。

(1) 定例教育委員会・・・12回

(2) 臨時教育委員会・・・・9回

3 教育委員会会議での審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に定める職務について、同法第26条及び「宗像市教育委員会事務委任規則」の規程等に基づき、平成21年度は合計56件について審議しました。

- | | |
|----------------------------|-----|
| (1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針 | 18件 |
| (2) 教育委員会規則の制定及び改廃 | 19件 |
| (3) 職員（教職員を含む）の人事に関する事 | 2件 |
| (4) 法令又は条例に定めのある附属機関の委員の委嘱 | 13件 |
| (5) 教科書の採択に関する事 | 2件 |
| (6) その他 | 2件 |

平成21年度 教育委員会審議案件等一覧表

(1) 審議案件

議案番号	議 案 名	開 催
1	宗像市体育指導委員の選任（案）について	4月定例
2	宗像市民図書館協議会委員の選任（案）について	〃
3	宗像市少年少女海外派遣使節団員選考委員の選出（案）について	〃
4	宗像市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則（案）の制定について	4月臨時
5	宗像市少年少女海外派遣使節団員の派遣について	〃
6	宗像市学校給食審議会委員の選任（案）について	〃
7	宗像市就学指導委員会委員の選任（案）について	5月定例
8	宗像市青少年センター運営審議会委員の選任（案）について	〃
9	宗像市次世代育成支援対策審議会委員の選任（案）について	〃
10	宗像市幼児教育審議会委員の選任（案）について	〃
11	宗像市学校図書館推進協議会委員の選任（案）について	〃
12	宗像市学校給食審議会委員の選任（案）について	〃
13	宗像市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正（案）について	〃
14	第3地区教科書採択協議会委員の選任（案）について	〃

議案番号	議 案 名	開 催
15	学童保育所運営の2分割（案）について	6月臨時
16	宗像市民図書館須恵分館整備方針（案）について	〃
17	宗像市民生委員推薦会委員の選出（案）について	7月定例
18	宗像市学童保育所条例の一部改正（案）について	〃
19	宗像市学童保育所条例施行規則の一部改正（案）について	〃
20	平成22年度使用第3地区中学校教科用図書の採択について	7月臨時
21	宗像市学童保育所指定管理者の決定について	8月定例
22	福岡都市圏の市町のスポーツ施設等を相互に他の市町の住民の利用に供することの一部変更に関する協議について	〃
23	福岡都市圏の市町の図書館等を相互に他の市町の住民の貸出利用に供することの一部変更に関する協議について	〃
24	宗像市子ども読書活動推進計画策定委員会委員の選任（案）について	〃
25	宗像市スポーツ振興計画後期計画（案）について	〃
26	宗像市学童保育所条例の一部を改正する条例（案）について	8月臨時
27	宗像市文化芸術振興条例（案）について	9月定例 9月臨時
28	宗像市体育施設の指定管理について	9月定例 9月臨時（2回） 10月臨時
29	宗像市公民館条例の一部を改正する条例（案）について	10月定例
30	宗像市公民館条例施行規則の一部を改正する規則（案）について	〃
31	宗像市民俗資料館条例を廃止する条例（案）について	〃
32	宗像市民俗資料館条例規則を廃止する規則（案）について	〃
33	宗像市立学校の施設の開放に関する条例の一部を改正する条例（案）について	〃
34	宗像市市民文化・芸術活動審議会委員の選出（案）について	〃
35	平成22年度全国学力・学習状況調査の実施について	11月臨時
36	宗像市教育委員会事務局組織規則等を改正する規則（案）について	11月定例
37	宗像市子育て支援計画（案）について	〃
38	第2次宗像市子ども読書活動推進計画（案）について	〃
39	宗像市体育施設（宗像市市民体育館、宗像市玄海 B&G 海洋センター、宗像市運動広場）の指定管理者の指定（案）について	〃
40	宗像市弓道場の指定管理者の指定（案）について	〃
41	宗像市次世代育成支援対策審議会委員の選任（案）について	〃

議案番号	議 案 名	開 催
42	宗像市暴力団等追放推進条例の一部を改正する条例について	11月定例
43	宗像市教育委員会規則で定める様式における敬称の取扱いの特例に関する規則（案）について	12月定例
44	平成22年度全国学力・学習状況調査の実施	1月臨時
45	宗像市学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例（案）について	1月定例
46	宗像市学校給食共同調理場管理規則の一部を改正する規則（案）について	〃
47	宗像市学校給食管理規則の一部を改正する規則（案）について	〃
48	宗像市図書館協議会委員の選任（案）について	〃
49	宗像市教育21世紀プラン2010（案）について	〃
50	平成22年度宗像市教育委員会研究指定・委嘱校等計画について	2月定例
51	宗像市教育委員会事務局組織規則等を改正する規則（案）について	〃
52	宗像市保育料徴収規則の一部を改正する規則（案）について	3月定例
53	宗像市保育の実施に関する条例施行規則の一部を改正する規則（案）について	〃
54	宗像市教育委員会の点検・評価について	〃
55	教職員の人事異動について	3月臨時
56	教育委員会事務局の指導主事の割愛について	〃

（2）協議案件

協議番号	協 議 名	開 催
1	田熊石畑遺跡の整備と活用について	5月定例
2	宗像市国際交流指針（案）について	7月定例
3	宗像市郷土文化学習交流施設等連携推進委員会設置要領（案）について	8月定例
4	宗像市教育委員会自己点検・評価の改善に向けた方策（案）について	10月定例
5	平成22年度教育施政方針大綱（案）及び平成22年度予算要求概要について	12月定例
6	平成21年度の研修評価及び平成22年度の研修計画の見直し（案）について	〃
7	小中一貫教育について	〃
8	宗像市の小・中で「平和学習」の出校日を復活させることを求める請願について	1月定例
9	宗像市教育委員会の点検・評価について	〃
10	宗像市の小・中で「平和学習」の出校日を復活させることを求める請願について	2月定例

協議番号	協 議 名	開 催
11	宗像市教育委員会の点検・評価について	2月定例

(3) 報告案件

報告番号	報 告 名	開 催
1	行政報告	4月定例
2	後援報告	〃
3	平成20年度教育委員会主要事業成果報告及び平成21年度教育委員会主要事業について	〃
4	宗像市少年少女海外派遣研修事業派遣指導員選出について	〃
5	平成21年度学校医等の委託について	〃
6	平成21年度小中学校校長・教頭及び市費職員配置について	〃
7	平成21年4月13日現在の児童・生徒数等について	〃
8	平成21年度小中学校行事予定表について	〃
9	田熊石畑遺跡公有化までのスケジュールについて	〃
10	小中一貫教育について	〃
11	平成22年度使用中学校用教科用図書採択に係る教科用図書調査研究協議会委員の推薦について	4月臨時
12	宗像市立小中学校の標準学力検査結果について	〃
13	行政報告	5月定例
14	後援報告	〃
15	第4回宗像市図書館を使った「調べる」学習賞コンクールについて	〃
16	非行防止研修会の案内について	〃
17	平成21年度定期訪問の日程について	〃
18	学校の日訪問割について	〃
19	5月学校の日について	〃
20	ワクワクWORK実施要領について	〃
21	平成21年度宗像市小中学校校長会係分担表について	〃
22	平成21年度宗像市小中学校教頭会係分担表について	〃
23	新型インフルエンザ対策について	〃
24	小中一貫教育について	〃
25	行政報告	6月定例
26	後援報告	〃
27	宗像市学校結核対策委員会設置要領の一部改正について	〃
28	学童保育事業の運営について	〃

報告番号	報 告 名	開 催
29	宗像市保育所児童保育要録・幼稚園幼児指導要録について	6 月定例
30	平成 2 1 年度同和問題啓発強調月間への参加要請について	〃
31	6 月学校の日	〃
32	中央中学校区及び河東中学校区における小中合同交流会について	〃
33	行政報告	7 月定例
34	後援報告	〃
35	学童保育事業の運営に対する回答について	〃
36	学童保育所指定管理者の応募状況について	〃
37	平成 2 0 年度保育料収納状況について	〃
38	平成 2 1 年度海外交流事業が中止に至った経緯について	〃
39	宗像市子ども読書活動推進計画の成果と課題について	〃
40	伝統文化等次世代継承モデル事業実施要項について	〃
41	平成 2 1 年度学校給食費納入同意書の提出状況について	〃
42	平成 2 0 年度学校給食費納入状況について	〃
43	学校改善訪問のまとめについて	〃
44	7 月学校の日について	〃
45	各小中学校における小中一貫教育の推進状況について	〃
46	第 6 回日本の次世代リーダー養成塾カリキュラムについて	〃
47	田熊石畑遺跡の指定について	〃
48	学童保育の運営について	7 月臨時
49	行政報告	8 月定例
50	後援報告	〃
51	宗像市学童保育事業の運営に対する回答について	〃
52	平成 2 0 年度宗像市教育委員会点検・評価報告書について	〃
53	宗像市学校給食衛生管理マニュアル（平成 2 1 年 7 月 3 1 日改定）について	〃
54	通学合宿推進事業について	〃
55	子育て応援特別手当（2 1 年度版）について	〃
56	宗像市国際交流指針について	〃
57	中学生職場体験事業（ワクワクWORK）の受入事業所について	〃
58	平成 2 1 年度小・中学校運動会・体育祭への出席について	〃
59	小中一貫教育について	〃
60	行政報告	9 月定例
61	後援報告	〃
62	平成 2 1 年度教育委員会主要事業中間報告	〃

報告番号	報 告 名	開 催
63	宗像市子育て応援特別手当（平成21年度版）支給事業実施要綱の制定について	9月定例
64	日の里中学校全面改築Ⅱ期工事について（給食・特別教室棟1・2）	〃
65	平成20年度宗像市児童生徒の食生活等に関する実態調査の結果報告について	〃
66	宗像市教育委員会指導主事 2学期以降の指導及び活動の重点について	〃
67	「宗像市教育センター」リーフレットについて	〃
68	9月学校の日	〃
69	小中一貫教育について	〃
70	新型インフルエンザの発生状況について	〃
71	全国学力テスト結果について	〃
72	行政報告	10月定例
73	後援報告	〃
74	平成21年度全国学力・学習状況調査の結果の取扱いについて	〃
75	全国学力・学習状況調査及び福岡県学力実態調査における分析結果について	〃
76	10月学校の日	〃
77	平成21年度宗像市教育委員会学校訪問について	〃
78	子どもまつりについて	〃
79	新型インフルエンザの発生状況について	〃
80	福岡教育大学「子どもの読書活動推進事業」との連携について	〃
81	小中一貫教育について	〃
82	行政報告	11月定例
83	後援報告	〃
84	宗像市文化振興条例（案）の市民意見手続きによる意見と回答について	〃
85	宗像市スポーツ振興計画（案）の市民意見手続きによる意見と回答について	〃
86	経済危機対策事業（ICT整備）について	〃
87	第4回宗像市図書館を使った「調べる」学習賞コンクール入賞作品について	〃
88	定期監査の結果について	〃
89	新型インフルエンザの発生状況について	〃
90	11月学校の日	〃
91	市内小中学校の教育の現状	〃

報告番号	報 告 名	開 催
92	小中一貫教育について	11 月定例
93	行政報告	12 月定例
94	後援報告	〃
95	宗像市語学指導員（ALT）業務委託業者選考委員会設置要綱の一部改正について	〃
96	宗像市離島市立学校児童生徒の試合等に係る渡船使用料補助金交付要綱について	〃
97	平成 21 年度宗像市成人式について	〃
98	12 月学校の日	〃
99	行政報告	1 月定例
100	後援報告	〃
101	郷土文化学習交流施設（仮称）基本構想、基本計画案中間報告	〃
102	「玄界灘の漁撈用具及び船大工道具」の登録有形民俗文化財登録について	〃
103	宗像市高等学校等奨学金支給要綱の一部を改正する告示について	〃
104	学童保育連合会中間事務監査について	〃
105	宗像地区教育実践研究表彰式及び宗像市教育センター研究員・福津市教育研究所員合同研究発表会要項について	〃
106	全国調べる学習賞コンクールの審査結果について	〃
107	小中一貫教育について	〃
108	行政報告	2 月定例
109	後援報告	〃
110	宗像市小中学校敷地内を全面禁煙にする取り組みについて	〃
111	宗像市立玄海小学校の基本構想について	〃
112	平成 21 年度宗像市立小中学校卒業式への出席について	〃
113	宗像市高等学校等奨学金の取扱いについて	〃
114	宗像市子育て支援計画（案）の市民意見手続きによる意見と回答について	〃
115	宗像市子ども読書活動推進計画（案）の市民意見手続きによる意見と回答について	〃
116	子どもの居場所調査の報告について	〃
117	社会教育委員のあり方及びその方向性について	〃
118	2 月学校の日	〃
119	宗像市表彰条例及び宗像市表彰条例施行規則の廃止について	〃
120	行政報告	3 月定例
121	後援報告	〃

報告番号	報 告 名	開 催
122	宗像市発達支援センター運営協議会設置要綱について	3月定例
123	宗像市立小中学校職員の旧姓使用取扱要綱について	〃
124	宗像市次世代育成支援対策補助金交付要綱の一部を改正する告示について	〃
125	宗像市私立保育所補助金要綱の一部を改正する告示について	〃
126	宗像市幼児教育研究協議会会則の一部改正について	〃
127	3月学校の日	〃
128	平成22年度定例教育委員会日程（案）について	〃
129	小中一貫教育について	〃

4 教育委員会活動の概要

教育委員は、教育委員の会議への出席以外に、学校改善訪問、学校の日、各種行事等にも積極的に参加しました。

(1) 学校改善訪問

①福岡教育事務所訪問

訪 問 日 6月15日（月）、6月25日（木）、6月30日（火）、7月7日（火）
7月8日（水）、7月9日（木）

訪 問 先 河東中学校、玄海東小学校、玄海中学校、日の里東小学校
東郷小学校、河東小学校

参 加 者 福岡県教育庁福岡教育事務所、宗像市教育委員、宗像市教育委員会事務局

訪問概要 ・学校経営要綱
・学校経営推進構想
・教育課程運営構想
・学力向上プラン
・校内研究推進構想
・授業参観

②宗像市教育委員会訪問

訪 問 日 9月29日（火）、9月30日（水）、10月21日（水）
10月27日（火）、11月5日（木）、11月18日（水）

訪 問 先 城山中学校、吉武小学校、南郷小学校
中央中学校、自由ヶ丘中学校、自由ヶ丘小学校

参 加 者 宗像市教育委員、宗像市教育委員会事務局

訪問概要 ・学校経営要綱
・学校経営推進構想

- ・教育課程運営構想
- ・学力向上プラン
- ・校内研究推進構想
- ・授業参観

(2) 小中学校長面談

面談日 2月23日(火)、2月24日(水)

面談校 宗像市内の全小中学校

面談概要 中学校区の小中一貫教育の進捗状況、自校の重点目標達成状況と来年度の方向性

(3) 研修会

- ・第8回九州地区市町村教育委員研修大会(島原市)
- ・福岡県市町村教育委員会連絡協議会教育委員長・教育長合同研修会(福岡市)
- ・福岡教育事務所管内市町教育委員会教育委員人権教育研修会(福岡市)

5 教育委員会に関わるその他の活動(教育委員が出席した活動等)

月	宗像市における各種行事・大会等
4月	・小中学校入学式
5月	・学校の日・小学校運動会、中学校体育祭
6月	・市議会6月定例会(本会議、一般質問)・学校の日
7月	・学校の日・同和問題啓発強調月間街頭啓発
8月	・小中一貫教育全国サミットin宗像 ・教育懇談会
9月	・市議会9月定例会(本会議、一般質問) ・学校の日・小学校運動会、中学校体育祭
10月	・学校の日
11月	・学校の日
12月	・市議会12月定例会(本会議、一般質問)・学校の日・人権啓発活動及び人権講演会
1月	・成人式・教育懇談会・研究発表会
2月	・学校の日・福岡地区小学校国語研究大会・宗像地区教育実践研究発表会
3月	・学校の日・市議会3月定例会(本会議、一般質問)・小中学校卒業式

6 点検及び評価の対象

平成21年度の点検評価の対象は、平成21年度の教育委員会の活動を振り返るとともに、本市教育委員会が毎年示す、子育て支援計画や宗像市教育21世紀プラン、生涯学習プラン、ハード事業、市民活動推進課及び交流室の具体的な教育活動の中から、次

の16事業としました。

なお、平成22年度以降の対象事業については、原則、全主要事業としますが、宗像市教育評価委員会と協議のうえ、決定します。

大項目	中項目
子育て支援計画	幼児教育振興事業
	私立幼稚園等補助事業
	ブックスタート事業
宗像市教育21世紀プラン	学校の日
	ALT派遣事業
	特別支援教育推進事業
	学力向上支援事業
	ニュージーランド交流事業
	家庭教育学級
	学校給食における学校・家庭・地域連携事業
	小中学校における食教育
	調べる学習コンクールの開催
生涯学習生涯プラン	企業スポーツ支援事業
	文化芸術振興事業
	郷土文化学習交流施設整備事業
	生涯学習活動推進事業

7 点検及び評価の方法

点検及び評価にあたっては、施策・事業内容の実績を明らかにすることで、その客観性を確保しました。

また、点検・評価については、学識経験者等の協力を得て宗像市教育評価委員会を次のとおり開催し、様々な意見をいただきました。

(1) 教育評価委員会の開催日及び内容

平成22年8月11日（水）

宗像市教育評価委員会及び運営スケジュール説明

平成22年8月24日（火）

対象事業（16事業）についてのヒアリング実施

平成22年10月8日（金）

対象事業の評価について協議

平成23年1月14日（金）

対象事業の評価について協議

(2) 教育評価委員の構成

(敬称略)

区 分	職 名	氏 名	役 職
知識経験を有する者	委員長	堺 正之	福岡教育大学教授
	副委員長	井上 豊久	福岡教育大学教授
	委員	松尾 和枝	日本赤十字九州国際看護大学講師
	委員	高杉 洋史	宗像市私立幼稚園園長会 玄海ゆりの樹幼稚園園長
その他教育委員会が必要 と認めた者	委員	東 博子	市民参画協働審議会会長
	委員	花田 省蔵	宗像市商工会長

8 点検・評価結果の構成

(1) 宗像市教育委員会の主要事業に関する提言書

① 提言の概要

宗像市教育評価委員会という立場から各事業の現状と将来象について総合的な評価をいただいています。

② 提言の具体的な内容

事業ごとに成果を生み出すために、事業目標・事業内容・予算・運営面から評価・改善点をいただいています。

(2) 評価票

①目標

事業ごとに目標を掲げています。

②内容設定

事業ごとに目標を達成するための内容を掲げています。

③最終成果

事業ごとの進捗状況や実績を掲げています。

④評価結果

事業ごとに提言を踏まえ、今後の事業の取り組みを進めるうえでの方向性を示しています。

宗像市教育委員会の主要事業に関する提言書

宗像市教育評価委員会

委員長 堺 正之

1 提言の概要

この提言書は、宗像市教育評価委員会が教育委員会事務局から提出された主要事業に関する成果報告及び根拠資料に基づきヒアリング等を実施して各事業の達成状況を確認し、点検・評価を行った結果をまとめたものである。

各事業について

(1)「子育て支援計画」では、①幼児教育振興事業、②私立幼稚園等補助事業、③ブックスタート事業について評価を行った。

・「幼児教育振興事業」は、保・幼と小学校の連携によるスムーズな接続において成果をあげており、家庭及び保育所・幼稚園における子育てを支援するための本市の取組の工夫は、十分評価できる。今後は、審議会等の活性化や工夫点の職員への一層の周知が重要である。また 幼・保一体化に向けた国レベルの動向も注視していく必要があると考えられる。

・「私立幼稚園等補助事業」、「ブックスタート事業」については、いずれの事業もその趣旨が市民に周知されており、評価できる。

(2)「宗像市教育21世紀プラン」では、①学校の日、②ALT 派遣事業、③特別支援教育推進事業、④学力向上支援事業、⑤ニュージーランド交流事業、⑥家庭教育学級、⑦学校給食における学校・家庭・地域連携事業、⑧小中学校における食教育、⑨調べる学習コンクールの開催について評価を行った。

・「学校の日」をいち早く導入し、学校教育への信頼を高めていることは評価できる。

・生きた英語に触れることを可能にする「ALT 派遣事業」、きめ細やかな指導や個に応じた指導を行うための「特別支援教育推進事業」や「学力向上支援事業」は本市が取り組むべき教育内容、方法の改善の柱として重要である。それだけに、各事業の本来の意義を踏まえ、取組の重点を明らかにした上で、その効果をしっかりと検証する必要がある。

・国際的視野を持つ子どもの育成を目指す「ニュージーランド交流事業」は、これまでの実績と課題をふまえ、検討する必要がある。

・「家庭教育学級」については、家庭教育力で特に弱い面に焦点を当てた改善と人材の育成が課題である。

・「学校給食における学校・家庭・地域連携事業」、「小中学校における食教育」は、生涯を通じて健康な生活を送るための基盤を形成する上で重要な「食」への取組を学校・家庭・地域の連携を通して推進する施策として評価できる。

・「調べる学習コンクールの開催」については、市内すべての学校の参加があることは評価できる。子どもたちの課題解決力の育成の点からも一層の充実が望まれる。

(3)「生涯学習推進プラン」では、①企業スポーツ支援事業、②文化芸術振興事業、③郷土文化学習交流施設整備事業、④生涯学習活動推進事業について評価を行った。

いずれの事業も先駆的・先進的な取組として高く評価されるべきものであるが、その持続性、発展性を確保するための工夫が望まれる。

・「企業スポーツ支援事業」については、市の知名度アップへの貢献等、所期の成果は上がっている。市民全体へのさらなる周知、ボランティアなどの人材育成と活躍の場の提供が課題である。

・「文化芸術振興事業」については、青少年対象の絵画展は意義がある。先進的な条例で示された理念や内容を計画的に実行することが不可欠である。伝統文化次世代継承モデル事業は、その活用方策を学校に積極的に提案する、あるいはルックルック講座等に位置づける等の工夫が必要である。

・「郷土文化学習交流施設整備事業」については、関係する市民団体と協働で進めていることが評価できる。基本計画の周知、基金等も活用し、市民参画での計画の実現が必要である。また、ボランティアなどの人材育成・活躍の場の提供も急務である。

・「生涯学習活動推進事業」については、市民参画という視点からもさらに情報提供・相談事業を充実し、新しい講師を発掘・育成していくことが望まれる。

事業点検・評価の方法について

教育委員会が自ら行っている各主要事業の点検・評価の内容については、統一書式により記載されている。しかし、最終成果については、あくまで事業の目標がどの程度達成されたかという観点から評価し、記載することが原則である。そのための様式の変更も含め、再度検討する必要がある。また、成果を説明するための根拠資料をより適切な形で示していくなど、今後に向けて改善の余地がある。

2 提言の具体的な内容

(1) 子育て支援計画

①幼児教育振興事業

保・幼と小学校の連携とスムーズな接続を目標に、連絡会や合同研修会を実施したことは評価できるが、保幼合同研修のほか、今後は小学校からの接続も重視し、保幼と小の人事交流も検討の必要がある。また、継続発展を図るには審議会等の活性化が必要であり保・幼・小連絡会、幼児研究協議会等の会議の充実を図るべきである。入学クラス編成カードを統一したことは意義があるが、カード様式のあり方について、さらなる検討、職員の周知が課題として挙げられる。宗像市の幼児教育のビジョンをいかに市民に定着することができたか検証方法を検討していく。さらには、国は幼・保一体化の動きがあるので、その動向を注視する必要がある。

②私立幼稚園等補助事業

事業の趣旨が市民に周知され、子育て支援の一環として評価できる。補助の内容に対して、より適切な運営等に資するため、情報交換・審査等が必要である。

③ブックスタート事業

実施にあたっては、健診時を活用するなど工夫がみられる。また、事業内容・成果から非常に良いと評価できる。今後は、テレビやゲームの長時間化の問題への対応（メディアスタート）なども合わせて提示していく必要がある。

(2) 宗像市教育21世紀プラン

①学校の日

学校の日をいち早く導入し、学校教育の理解や信頼高揚を図っていることは評価できる。ただし、最終成果を来校者数の確保だけでなく、外部評価の観点ではアンケート結果を活かす方法の検討など、視点を変える工夫が必要である。

②ALT派遣事業

小中学生の時期に生きた英語に触れながら学習できることは評価できる。「国際理解」と「外国語活動」のどちらに視点をおいているのが不明であり、学校の意見を聞くなど、再度目標・内容・方法・形態等を検証する必要がある。

③特別支援教育推進事業

特別支援教育コーディネーター及び特別支援学級担当者研修については、その研修内容など評価できる。また、対象児童・生徒は増加傾向にあり学校のニーズも大きい。今後は、一人一人のニーズにあった事業展開、家族・生活様式なども含めて連携する必要がある。また、特別支援教育の強化を求められている学校には人材確保、人員配置のほか専門的見地からの助言が教職員全体に理解されるよう一層の働きかけが必要である。

④学力向上支援事業

県費教員のほか市の独自財源で講師を雇用し各学校の実情に応じたきめ細かい指導及び個に応じた指導を行っており評価できる。学力テスト結果だけでは判断できないが、重点的な効果についての検証が必要である。この事業以外に市費で人的支援がなされているが、事業ごとに取り組み内容を検証し、優先順位をつける必要がある。また、人材育成や人材確保では、例えば「少人数」「特別支援」などの区分を設けるなどして採用するとより充実した人材を確保できる。

⑤ニュージーランド交流事業

国際的視野を持つ子どもの育成にとって、直接的な体験は効果的事业だと評価できるものの、参加者の事業後における社会貢献や国際交流事業への参加を促す等の取り組みが必要である。また、この事業は平成3年度から始まっており、国際的視野を持つ子どもを育成するのであれば別の発想で事業を見直すことも必要である。平成22年度の実績を踏まえ、経費面においても検討の必要がある。

⑥家庭教育学級

家庭教育力で特に弱い面に焦点をあて、改善を図るとともに人材育成の必要がある。家庭教育学級に参加できない課題のある保護者への支援も必要である。

⑦学校給食における学校・家庭・地域連携事業

学校の実情に応じて、例えば、地元の農家等と連携した土づくりからの本格的な事業など、子どもが主体となる事業やそのための実践的研究が望まれる。また、テーマを設けて取り組むなどの工夫が求められる。

⑧小中学校における食教育

単独校調理場方式給食（自校式給食）の利点を活かし、全校配置の栄養士を中心に学校全体で取り組んでおり高く評価できる。食材も地元の産業を活かし、地産地消の観点から工夫されており、今後も、さらに推進することが望まれる。

⑨調べる学習コンクールの開催

市内全ての学校の参加と全国コンクールでの入賞作品があることは評価できる。今後もコンクールの参加を促進するとともに、さらに学校が図書館を活用した調べ学習に取り組むことで、学力の向上を図ることができると思われる。

(3) 生涯学習推進プラン

①企業スポーツ支援事業

企業スポーツを支援する取組は先駆的であり、市の知名度アップへの貢献など一定の成果をあげ、市民ファンの増加にも繋がっているが、市民全体への周知はまだ不十分である。

総合的な宗像市のスポーツ振興を見据え、市民参画のスポーツ文化醸成が企業支援と並行して求められる。また、ボランティアなどの人材育成やその活躍の場の拡大が望まれる。

②文化芸術振興事業

青少年対象の絵画展は意義がある。先進的な条例であるが、今後は条例で示された理念や内容に対して計画的な実行が不可欠である。伝統文化次世代継承モデル事業は、受入側となる学校への周知だけでは不十分と思われるため、教科等の学習と関連させるなど、積極的に提案してはどうか。また、学校だけでなくコミュニティやルックルック講座等にも位置づけてはどうか。また、ボランティアなどの人材育成やその活躍の場の拡大が望まれる。

③郷土文化学習交流施設整備事業

歴史文化を市民、特に若い世代や後世に伝えるため、関係する市民団体と協働で進めていることは評価できる。商工会、観光協会等の各会で温度差があるので各団体と連携して進めることが望ましい。

基本計画の周知、基金等も活用し、市民参画での計画の実現が必要である。また、この事業に対応したボランティアなどの人材育成・活躍の場の整備が急務である。

④生涯学習活動推進事業

全国に誇る先駆的な取組であり、市民参画という視点からもさらに情報提供・相談事業を充実し新しい講師を発掘・育成していく必要がある。全市民を対象にアンケート調査を実施して、市民ニーズを把握し改善することが必要である。生涯学習推進プランが平成14年に策定されており、そのプランの見直しも必要である。

(4) 事業点検・評価の方法

教育委員会が自ら行っている各主要事業の点検・評価の内容については、事業の目的や具体的な内容、事業目標、最終成果を掲載している。

しかし、最終成果の記載については、例えば、「学力向上支援教員25名を小中学校に配置し学習指導を行った」とあるが、成果指標としては、配置することで、どう学力向上につなげたかなどの記載がないなど、様式の変更も含め、再度検討する必要がある。

評価票（子育て支援計画）

大項目	中項目	小項目	評価の観点	決算額 (千円)	評価結果
幼児教育振興事業		目標設定	保育所・幼稚園の連携強化 保育所・幼稚園・小学校の連携・接続の強化	293	拡大
		内容設定	保・幼連絡会及び職員の合同研修会等を開催し情報を共有し連携を図る。 保・幼・小連絡会を開催し連携・接続の強化を図る。 幼児教育研究協議会・幼児教育懇話会を開催し幼児教育を効果的に推進する。		
		最終成果	保・幼職員の合同研修を開催し職員の資質向上と、情報の共有化を図った。 各会議を開催し、保・幼の連携及び保・幼・小の連携接続の強化を推進した。 保育要録・入学クラス編成カードの統一化を行い、保・幼・小の連携接続の強化を推進した。 このことにより、保・幼と小学校との相互交流が進んだ。 また、要録等の統一化により、評価の一元化と活用が促進された。 私立幼稚園等補助金を交付することにより、就学前幼児教育振興を図る。		
私立幼稚園等補助事業		目標設定		118,313	維持
		内容設定	私立幼稚園就園奨励費補助金を交付する。 私立幼稚園教員研修事業補助金を交付する。 私立幼稚園が、い原教育振興事業補助金を交付する。 地倉分園運営事業補助金を交付する。 私立幼稚園就園奨励費等各補助金を交付することにより市民の幼稚園就園率が向上した。		
		最終成果			
ブックスタート事業		目標設定	ア：4か月健診を受診する全ての対象者に実施する。 イ：ブックスタートポランディアと協働で実施する。 ウ：「赤ちゃんのおはなし会」と「小さい子のためのおはなし会」を実施する。	407	維持
		内容設定	ア：読み聞かせによる親子のふれあいの大切さを伝えながら、絵本やおすずめの絵本リストなどを手渡す。 イ：図書館が賛成したポランディアに活動の場を提供する。 ウ：えほんのへやでフォロアーアップのためのおはなし会を行う。		
		最終成果	ア：年間対象者722人中、719人実施。 イ：ブックスタートポランディアのべ41人と協働で実施。 ウ：「赤ちゃんのおはなし会」を24回実施374人参加。「小さい子のためのおはなし会」を50回実施1,871人参加。		

評価票（宗像市教育21世紀プラン）

大項目	中項目	小項目	評価の観点	決算額 (千円)	評価結果
宗像市教育21世紀プラン	学校の日	目標設定	・開かれた学校、信頼される学校づくりの推進 毎月1,000名以上の参観者を目指す。	-	維持
		内容設定	・外部評価を受ける場、授業を通して説明責任を果たす場		
		最終成果	・年間来校者11,528名 月平均960名		
宗像市教育21世紀プラン	ALT派遣事業	目標設定	・英語活動への関心、意欲を高める（小学校） ・実践的なコミュニケーション能力の向上（中学校）	27,646	維持
		内容設定	・市内小中学校に7名のALTを配置する。 ・英語に慣れ親しむ（小学校） ・英語活用能力、国際交流活動の推進（中学校）		
		最終成果	・各中学校ブロックに同一のALTを配置した。 ・「英語が使え宗像の子」の育成を図った。		
宗像市教育21世紀プラン	特別支援教育推進事業	目標・内容設定	・特別な支援を要する児童生徒への継続的な支援 ・特別支援コーディネーター養成研修の実施 ・専門家チームによる巡回相談 ・特別支援学級等補助員の配置	19,790	拡大
		最終成果	・巡回相談を小学校10校のべ22回実施した。 ・発達支援センター、健康づくり課との連携を図った。 ・保幼小中の一貫した特別支援教育体制の強化を図った。		

評価票（宗像市教育21世紀プラン）

大項目	中項目	小項目	評価の観点	決算額 (千円)	評価結果
宗像市教育21世紀プラン	学力向上支援事業	目標設定	・教科の学力の向上	54,440	拡大
		内容設定	・市独自の非常勤講師を配置しきめ細やかな指導及び個別に応じた指導の充実を図る。		
		最終成果	・学力向上支援教員を小学校に15名、中学校に10名配置した。 ・小中一貫教育、少人数、TT、特別に支援を要する児童生徒への学習指導を行った。		
		目標設定	国際的視野を持った子どもの育成 国際ボランティアの育成 事前研修・本研修等を通じて、次世代リーダーを育成する。 事前・本・事後研修の内容を充実する。		
宗像市教育21世紀プラン	ニ cushion ジョーランド交流事業	内容設定	国際的視野を持った次世代層を育成し国際交流を実践する。 ホームステイの導入を行うことで、市民レベルの国際交流を実施する。	424	維持
		最終成果	平成21年度は、世界的な新型インフルエンザの流行により事業中止。		
		目標設定	家庭・地域の教育力を高め青少年の健全育成を図るため、親子関係、しつけ・メディア問題などについて、小・中PTA、幼稚園保護者会、コミュニティ運営協議会主催の「家庭教育学校」の開設を推進する。		
		内容設定	開設学級数31校(園)、コミュニティ13地区で開催。 年間開催数は小・中・幼稚園6回以上、コミュニティ年間3回以上開催を目指す。 学校・幼稚園・コミュニティの共催事業を推進する。		
宗像市教育21世紀プラン	家庭教育学級	最終成果	小学校54回4,299人、中学校19回4,777人、幼稚園等35回3,868人の事業を実施した。内3回の合同事業を実施し、389人が参加した。 コミュニティでの開催回数及び参加者数が倍増した。	46	維持
		目標設定	ア：市内外すべての小・中学校が参加し、520点（小学生の部414点、中学生の部106点）の応募があり、全国コンクールでは小中学校の作品2点が奨励賞を受賞した。		
		内容設定	ア：「調べ学習」を行うことを通じ「自ら考え、課題を解決する力」を養う。		
		最終成果	ア：市内外すべての小・中学校が参加し、520点（小学生の部414点、中学生の部106点）の応募があり、全国コンクールでは小中学校の作品2点が奨励賞を受賞した。		

大項目	中項目	小項目	評価の観点	決算額 (千円)	評価結果
宗像市教育21世紀プラン	学校給食地域連携事業・家庭・	目標設定	・市内5校以上における本事業の取組実績 ・取組校における家庭や地域と連携した事業開催回数が25回以上実施	366	維持
		内容設定	・推進事業の取組推進：実施校への支援、周辺校の栄養教諭、学校栄養職員との協力推進		
		最終成果	・市内7校において取組が行われた。 ・各校における取組で、家庭や地域と連携した事業回数は48回以上実施された。（通年事業等があるため、回数は以上と表記した）		
		目標設定	・市内小中学校における栄養教諭・学校栄養職員等による食に関する指導回数が520回以上 ・給食メニュー紹介回数が66回以上 ・試食会実施回数が21回以上		
宗像市教育21世紀プラン	小中学校における食教育	内容設定	・市内小中学校における食の専門家である栄養教諭・学校栄養職員等による食に関する指導推進：食に関する指導(教科等)給食時間における指導の充実 ・栄養教諭、学校栄養職員等の食に関する指導の資質向上に関する内容：栄養教諭・学校栄養職員等への食に関する指導に関する研修会の開催 ・家庭や地域への食育の推進：給食メニュー紹介・試食会の実施	-	維持
		最終成果	・市内小中学校における食に関する指導回数が554回だった。 ・給食メニュー紹介回数が75回だった。 ・試食会実施回数が23回だった。		
		目標設定	ア：宗像市図書館を使った「調べる」学習賞コンクールを行う。		
		内容設定	ア：「調べ学習」を行うことを通じ「自ら考え、課題を解決する力」を養う。		
宗像市教育21世紀プラン	調べる学習コンクールの開催	最終成果	ア：市内すべての小・中学校が参加し、520点（小学生の部414点、中学生の部106点）の応募があり、全国コンクールでは小中学校の作品2点が奨励賞を受賞した。	46	維持
		目標設定	ア：「調べ学習」を行うことを通じ「自ら考え、課題を解決する力」を養う。		
		内容設定	ア：「調べ学習」を行うことを通じ「自ら考え、課題を解決する力」を養う。		
		最終成果	ア：市内すべての小・中学校が参加し、520点（小学生の部414点、中学生の部106点）の応募があり、全国コンクールでは小中学校の作品2点が奨励賞を受賞した。		

評価票（生涯学習推進プラン）

大項目	中項目	小項目	評価の観点	決算額 (千円)	評価結果
生涯学習推進プラン	企業スポーツ支援事業	目標設定	トップスポーツ観戦機会の提供 市民ボランティアの育成 運営感やコミュニケーションの促進 市のPR	1,575	維持
		内容設定	実業団女子駅伝西日本大会やラグビーリーグの開催支援 サニックスブルース、JRC九州ラグビー部と市民の交流会開催		
		最終成果	女子駅伝は沿道に約2万人、ラグビーはグローバルリーナに約6500人の観戦者を得た。 女子駅伝の市民ボランティアは福津市と併せ約600人が大会運営に携わる。テレビ放映は、西日本14局ネットで放映。 サニックスブルース、JRC九州ラグビー部、朝光協会、市主催で市民交流を目的にサンセットフエスタを開催し500人が参加。		
		目標設定	文化振興条例の制定 主に青少年を対象とする美術展及び伝統文化継承講座の開催		
生涯学習推進プラン	文化芸術振興事業	内容設定	同条例案を策定、議会承認を得る。 大きくすの木の下で美術館展を開催する。 文化協会との協働事業で、伝統文化継承講座を開催する。	3,431	維持
		最終成果	12月議会と同条例の承認を得た。 美術館展は、ユリックスで開催し、人の入場を得た。 伝統講座は、3つの小学校で華道、吟剣筆5講座を開催した。		
		目標設定	同施設整備基本構想、基本計画の策定		
		内容設定	学識者、関係団体、市民代表、市で構成する委員会を組織し、基本構想、基本計画案をとりまとめる。		
生涯学習推進プラン	郷土文化学習交流施設整備事業	最終成果	学びを通じた郷土：人づくり、歴史文化の多面的活用と情報発信、世界遺産：宗像遺産のガイダンスの3つを柱とする基本構想、基本計画案をまとめた。	4,120	拡大

大項目	中項目	小項目	評価の観点	決算額 (千円)	評価結果
生涯学習推進事業	生涯学習活動推進事業	目標設定	市民学習ネットワークの延べ受講者目標を59,500人とする	5,340	維持
		内容設定	市民ニーズの把握 各種講座の開催 有志指導者の育成・派遣		
		最終成果	年間266学級を開設し、延べ受講者数は61,729人 PRのため、無料講座21学級を実施し、285人が参加		
生涯学習推進事業	生涯学習活動推進事業				
生涯学習推進事業	生涯学習活動推進事業				